

令和5年度第1回 県西地区保健医療福祉推進会議  
病床機能分化・連携ワーキンググループ開催結果概要

1 日時 令和5年7月26日(水)19:00～20:20

2 方法 WEB 開催（協議）

3 参加者 医療機関 25名（17医療機関）  
医師会、地域医療介護連携関係者、行政 12名  
オブザーバー（市町） 13名

4 議題

○ 協議

(1) 公立2病院における基金を活用した病床機能の分化・連携事業について

事務局、小田原市立病院、神奈川県立足柄上病院より資料1について説明し、質疑、意見交換を行った。

(2) 外来機能報告制度について（紹介受診重点医療機関の公表）

事務局から資料2について説明し、質疑、意見交換を行った。

○ 報告

(1) 県西地区における医療・介護連携体制の構築について

事務局から資料3、参考資料1-1、1-2について説明し、質疑、意見交換を行った。

5 主な意見等

○ 協議

(1) 公立2病院における基金を活用した病床機能の分化・連携事業について

・2病院の協定は本当にありがたく、このとおりに進めば3年後には地域医療がスムーズになるはず。これに向けて基金活用できることは喜ばしいが、建築費高騰等がある中、補助の上限は決まっているか。

→過去の同様の再整備において設けた上限額、8.5億円を上限とする方向で財政当局と調整を進めている。（事務局）

・産科・小児科の医師不足への対応や、高額な医療機器整備を考慮すると、医療の集約化はある程度は仕方がないが、医療は生活に必要なインフラであるため、これ以上行き過ぎないように求める。

- ・回復期病棟を拡充する場合、今回の基金を活用した事業に何らかの形で参加が可能か。

- 既存の補助メニューにもある転換であり、基金活用見込みは十分ある。公立2病院の事業スキームに絡めて検討することを含めて、今後具体の相談をさせていただきたい。(事務局)

- ・資料の事業イメージでは公立の基幹病院と周りの病院との間に縦の矢印があるが、この地域は私立病院間の連携があり、横や斜めの矢印も飛び交っているのが特徴。この地域独自の連携スキームを作り上げられると良い。

## (2) 外来機能報告制度について（紹介受診重点医療機関の公表）

- ・診療科によって非常に紹介率が高い病院は、紹介受診重点医療機関となり得るか。

- 診療科単位ではなく、あくまで病院単位で外来機能報告の数値を用いて選出している。(事務局)

- ・この地域には色々な領域で突出して頑張っている急性期病院などがあるが、そうしたことを含めた病院機能を検討できる場がないので、病院主体の組織を構築して、公立2病院だけではない議論をしていく必要があると思う。

## ○ 報告

### (1) 県西地区における医療・介護連携体制の構築について

- ・高齢化社会で、一人の患者さんが複数疾患を抱えていたり、介護施設から病院に来た時に、診療情報のやり取りに時間がかかっているのが現実だが、この地域で医療情報のデータベースの共有化の構想はあるか。

- まだそこまで機運がっていないが、目指す方向などから各種会議で議論しながら進めていきたいとは考えている。(事務局)